

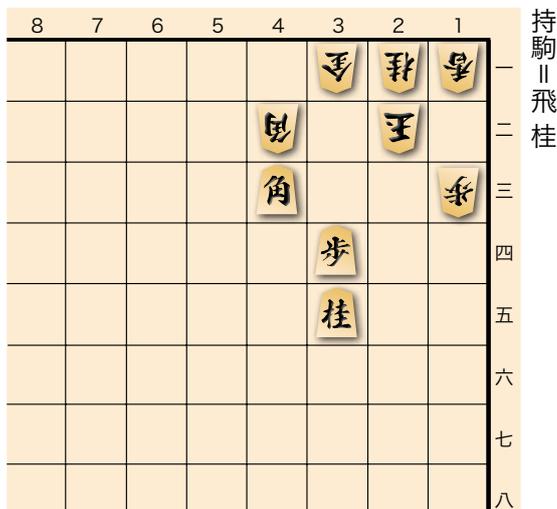
次の一手

答え合わせ

〈第33局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で1級)

ヒント 初手が難しい。最終の玉の位置は1一。



持駒 飛 桂
 〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

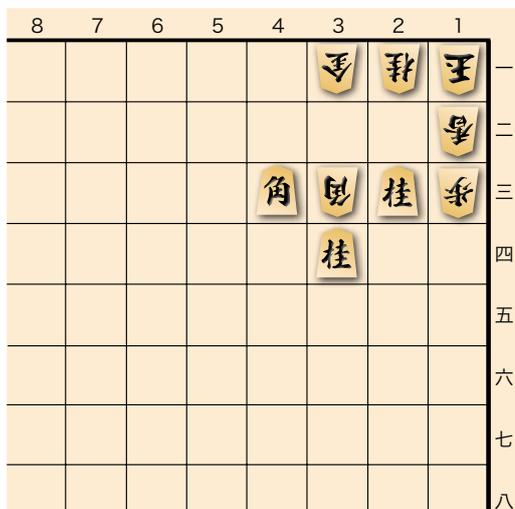
▲3 三步成 △同角 ▲1 二飛 △同香 ▲3 四桂
 △1 一玉 ▲2 三桂不成までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

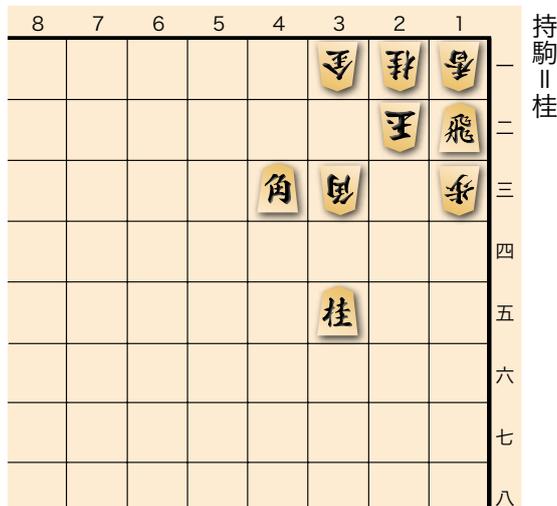
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
 第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」



詰め上がり図 (▲2三桂不成まで)



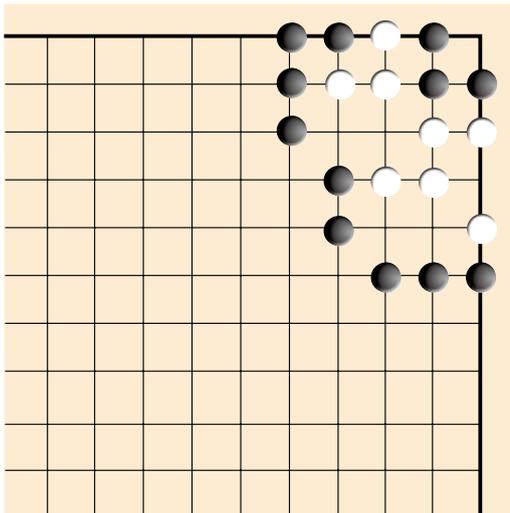
途中図 (▲1二飛まで)



(解説) ▲1 二飛のタダ捨てが詰め手筋。△同玉だと▲3 四角成で詰むので△同香と取るが▲3 四桂で玉を1一に落として最後は桂「不成」で詰め上がる。

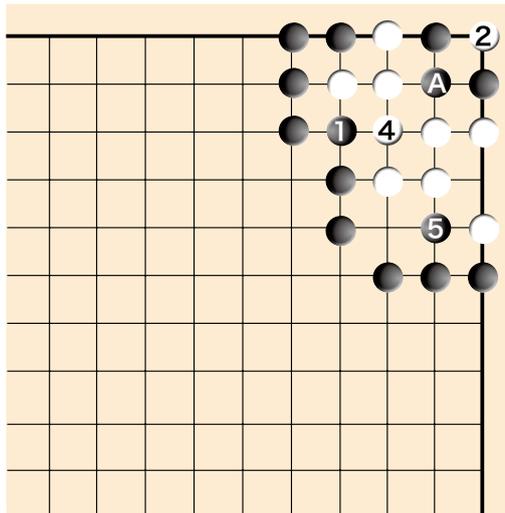
詰碁 問題 黒先白死 (5分で2級)

ヒント 3手目が決め手です。



〈監修〉畠中星信五段

詰碁 答え



③ (Aの点)

黒1が落ち着いた好手。白2には黒3が先手で白は手抜きできません。(白手抜きだと黒4でおいおとしに) 最後に黒5で白は死にとなりました。

畠中 星信 (はたなか・ほしのぶ)

1987年6月10日生まれ。熊本市出身。

5歳の時、父に近くの碁会所へ連れて行ってもらったことがきっかけで囲碁を始める。

18歳でプロになり、それからは自分の打ちたい手を打つことを心掛けている。最近になり、やっと自分なりの打ち方を見つけられたと感じている。

趣味は将棋。囲碁と共通する部分を探しながら楽しんでいる。

